7. 除染等業務従事者等の地域別線量 「2018年]

市町村	地域A	地域B	地域 C	その他	計	
年間線量(mSv)					人	(%)
1以下	5, 528	15, 692	3, 999	1, 151	26, 370	(92. 7)
1を超え2以下	107	1, 151	109	19	1, 386	(4. 9)
2を超え3以下	10	351	6	5	372	(1.3)
3を超え4以下	0	170	0	0	170	(0.6)
4を超え5以下	0	72	0	0	72	(0.3)
5を超え7.5以下	0	43	0	0	43	(0. 2)
7.5を超え10以下	0	4	0	0	4	(0.0)
10を超え15以下	0	0	0	0	0	(0.0)
15を超え20以下	0	0	0	0	0	(0.0)
20を超える	0	0	0	0	0	(0.0)
合計人数	5, 645	17, 483	4, 114	1, 175	28, 417	(100. 0)
(%)	(19.9)	(61.5)	(14. 5)	(4. 1)		
平均線量 (mSv)	0. 2	0. 4	0. 2	0. 1	0.3	
合計線量 (人・mSv)	878. 2	6, 716. 8	640. 0	155. 7	8, 390. 7	-

「表の見方〕

2018年に除染等業務従事者等が除染事業に従事した市町村を、除染特別地域については地理的な位置を考慮して北 から順に地域A~Cの区分、それ以外の地域をその他の区分とした4区分に取りまとめて集計しています。ただし、こ の区分は2011年及び2012年統計の除染実証事業に基づく区分とは異なっています。

地域A : 飯館村、川俣町、南相馬市、浪江町 地域B : 葛尾村、田村市、双葉町、大熊町地域C : 川内村、富岡町、楢葉町 その他 : 除染特別地域外の市町村

※ 2011年、2012年の統計では、富岡町が地域Bに、大熊町、広野町が地域Cに区分されています。

- 例えば、2018年集計における「地域C」の線量「1を超え2以下」の「109」という値は、2018年の1年間に地域Cで除染等業務を行い、その線量が $1\,\mathrm{mSv}$ を超え $2\,\mathrm{mSv}$ 以下であった者が109人であったことを示します。
- 2019年5月28日現在の登録データを基に集計しています。

[留意点]

- ・ 除染等業務従事者等の作業時間、作業日数等は考慮されていませんので、平均線量が必ずしも地域の空間線量率を反映 したものとはなっていません。
- 福島県の空間線量率につきましては、原子力規制委員会ホームページ「放射線モニタリング情報」及び福島県ホーム ページ「空間線量モニタリング結果情報」をご確認ください。